

ならちゅうしん経営研究会 例会報告

第 357 回 研究会

日 時 令和 4 年 10 月 19 日(水) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 40 分
場 所 奈良中央信用金庫 3 階 ホール (オンライン併用開催)
テーマ 「補助金セミナー」
講 師 株式会社 シーエムアイ 代表取締役
中小企業診断士 岸 克行氏

今回の研究会も、新型コロナウイルスの感染防止に配慮し、会場に来訪頂いてのご参加と Z o o m によるオンラインでのご参加に分れてのハイブリッド型で開催しました。

今回は、奈良県中小企業診断士会の理事で、中小企業基盤整備機構や近畿経済産業局の専門家アドバイザーとして、マーケティング支援、従業員教育、事業承継支援など幅広い分野で中小企業支援の実績をお持ちの岸克行氏を講師にお招きして、「補助金セミナー」を開催し、冒頭に上田会長より開会のご挨拶を頂きました。

まず今年度より経済産業省が力を入れている中小企業者への伴走支援について解説を頂きました。専門家アドバイザー4名から構成されるチームが支援対象となる中小企業に対して時間をかけて面談、ヒアリングを実施し経営課題を抽出、課題解決のためのロードマップを作成し支援していく制度であるとのこと。今回のセミナーテーマである補助金は経営課題解決の1つの有効な手段です。

今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響で売上高が減少した事業者が新規事業に取り組むことを支援する目的で創設された事業再構築補助金と、中小企業の生産性向上や新規事業創出を支援する目的で平成 26 年度より実施されている「ものづくり・商業・サービス補助金 (通称: もの補助)」を中心に解説を頂きました。

講演の最後には、補助金活用の失敗事例の 6 典型 (①知見が乏しい領域であること②ニーズ検証不足③とりあえず採択のみに集中しすぎる=補助金を受けることが目的になっている④周囲の褒め殺し=反対意見が得られない⑤専門家からの助言不足、活用不足⑥既存の知見で対応可能と思いつく=過去の成功体験に固執している) の紹介があり補助事業のテーマ=ビジョンであることが必要とのお話でした。

補助金活用は、会員の皆様の会社にとっても自社の持続可能な発展のために重要な、そして関心の高い内容ですので、講義が終ってからも、多くの質問が寄せられました。最後は芳仲副会長よりご挨拶を頂き第 357 回経営研究会を締め上げて頂きました。岸先生、貴重なご講義をありがとうございました。

以 上



上田会長 ご挨拶



講師 中小企業診断士 岸 克行氏